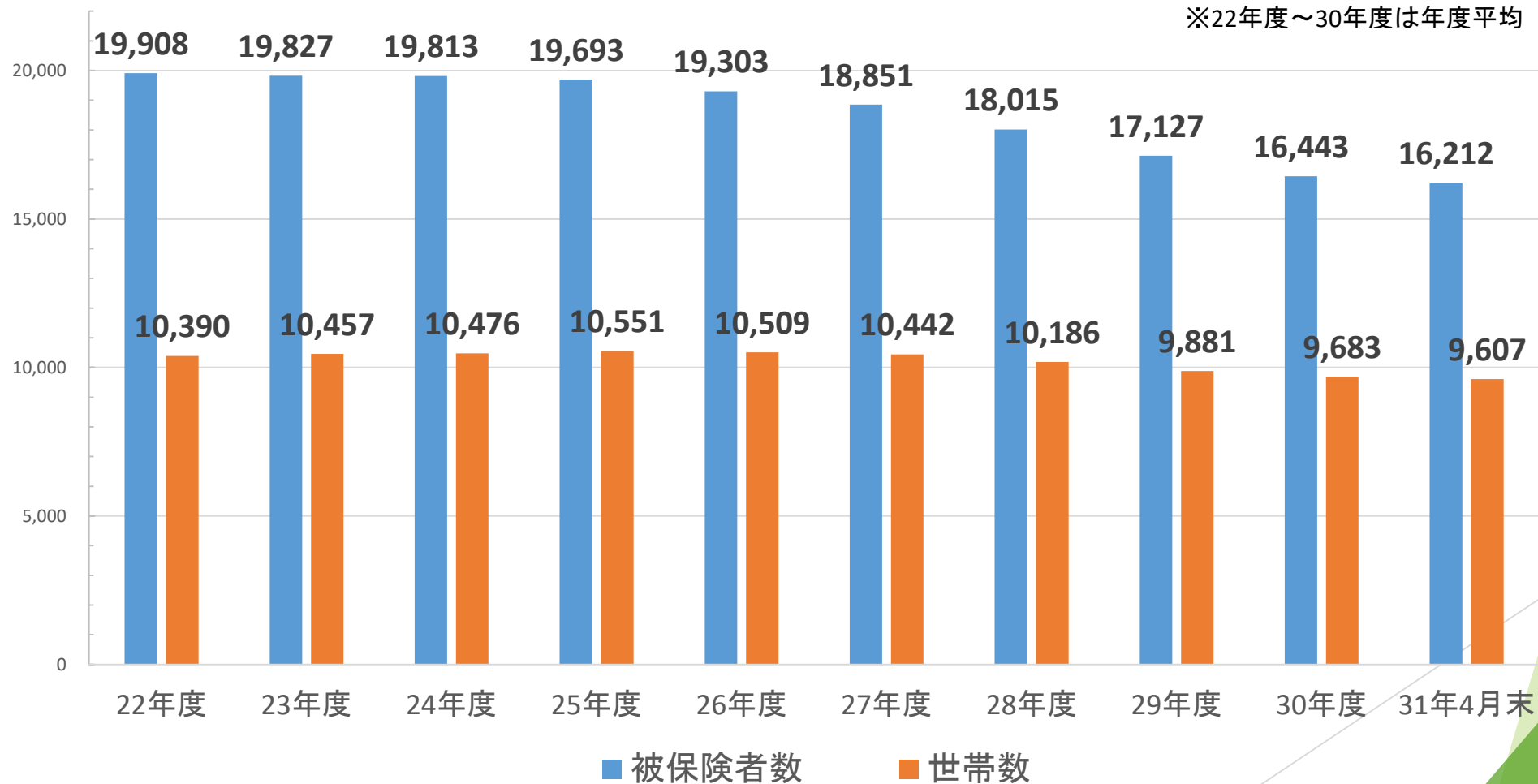


南アルプス市の現状と 糖尿病重症化予防について

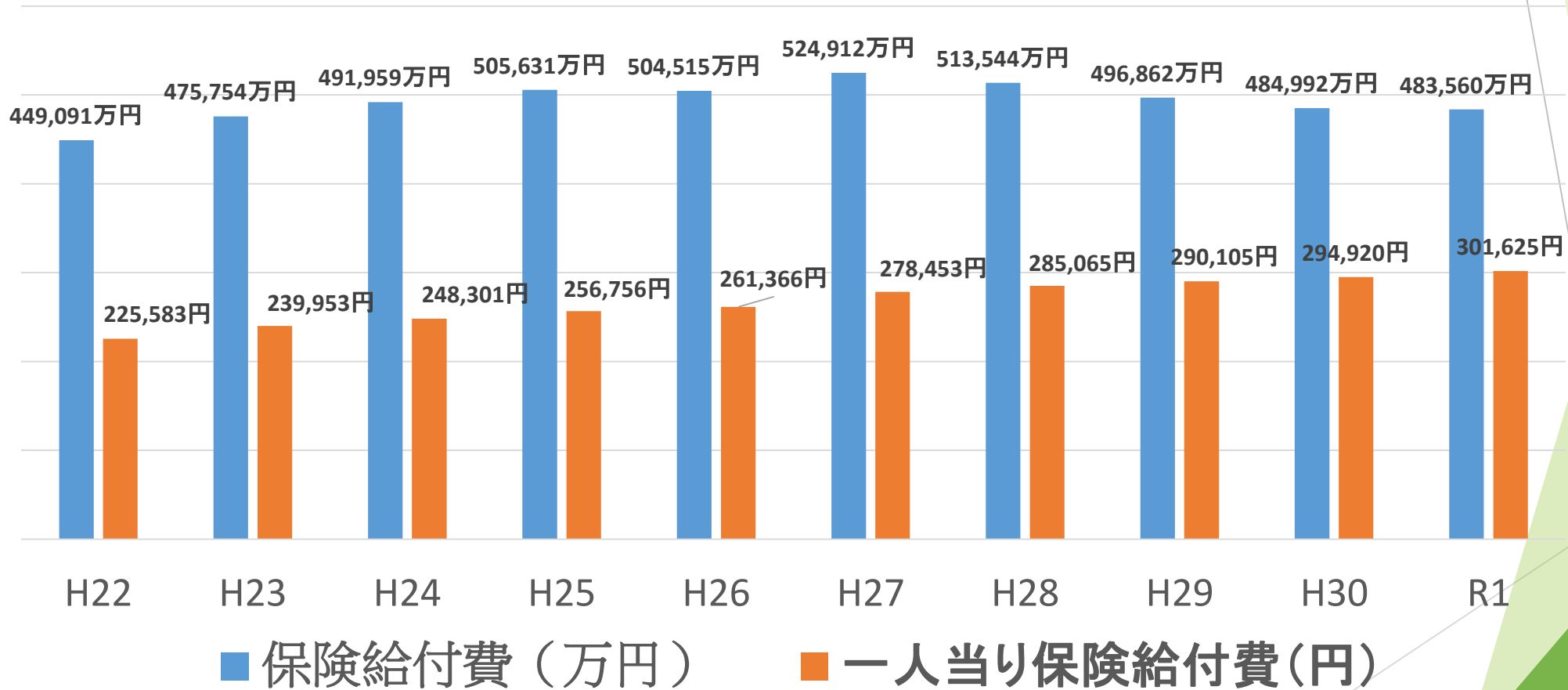
国保加入者(被保険者)数・世帯数の推移

南アルプス市人口	71,614人
国保加入者(被保険者)数	16,212人
国保加入者の割合	22.6%



保険給付費の推移

保険給付費(南アルプス市国保全体・一人あたり)



国保医療費（疾病中分類分析）

R 1 年度累計入院・入院外合計

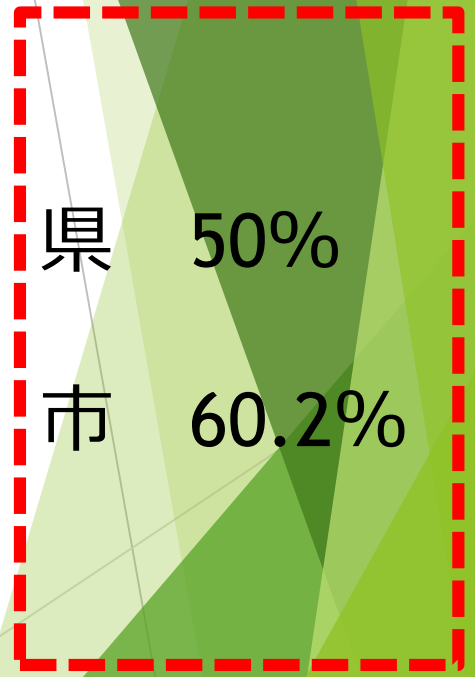
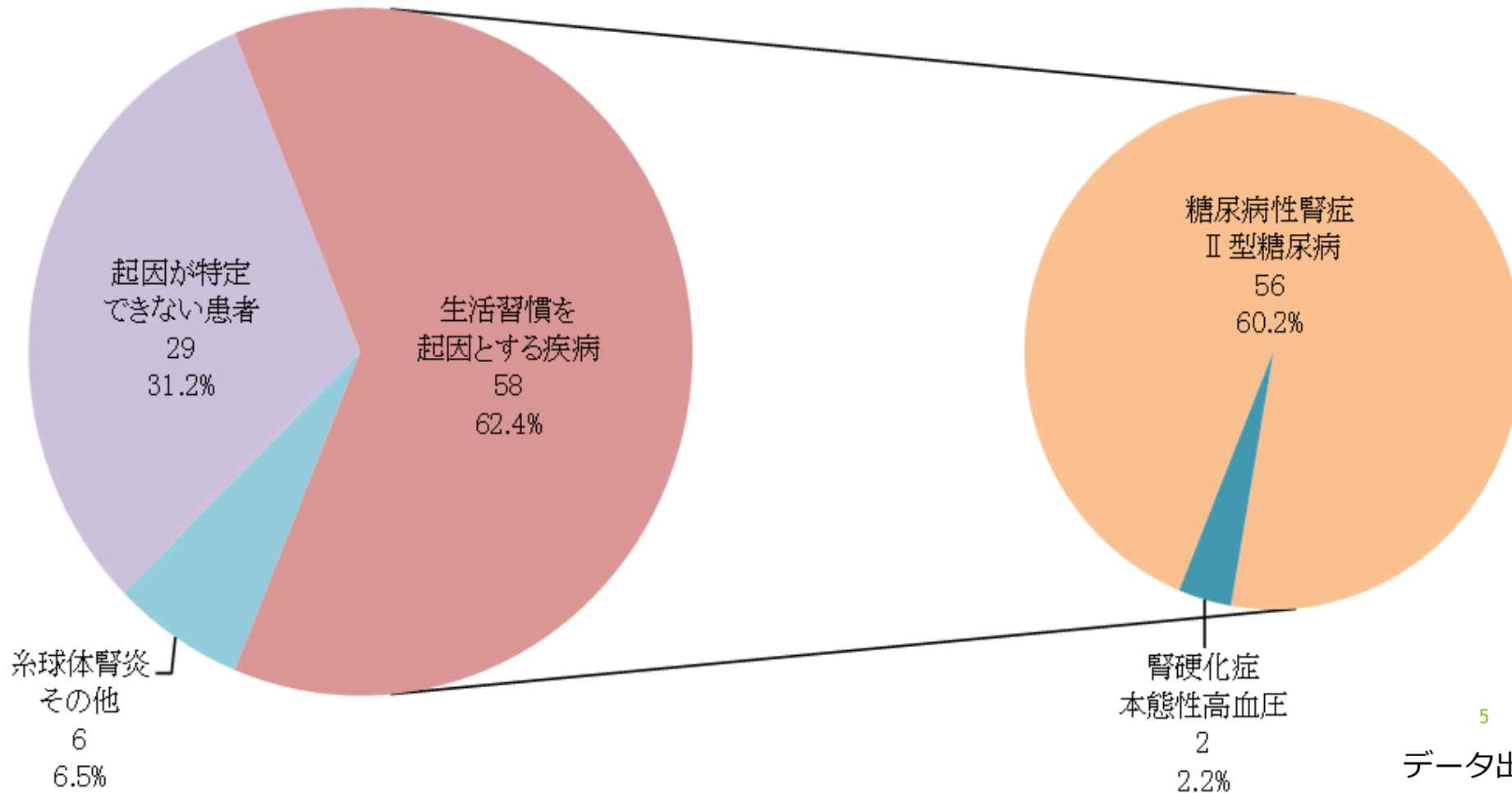
	平成29年度	平成30年度	令和元年度
第1位	慢性腎臓病	慢性腎臓病	慢性腎臓病
第2位	糖尿病	糖尿病	糖尿病
第3位	高血圧症	高血圧症	高血圧症
第4位	統合失調症	統合失調症	関節疾患
第5位	関節疾患	関節疾患	統合失調症

出典：国保KDBシステム

人工透析患者の起因(H28)

単位:人

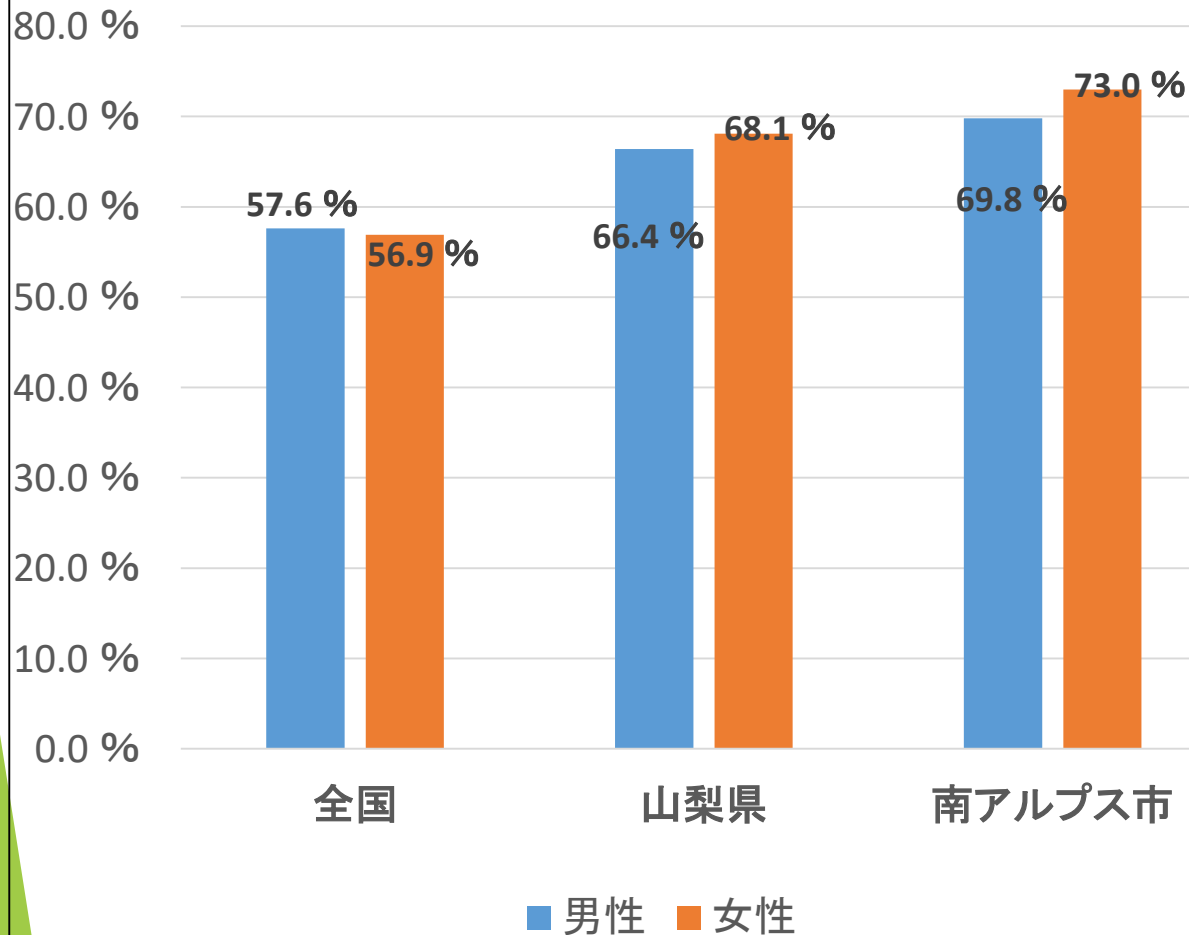
糖尿病性腎症による導入割合が県平均より高い！



健診結果・国保レセプトデータより

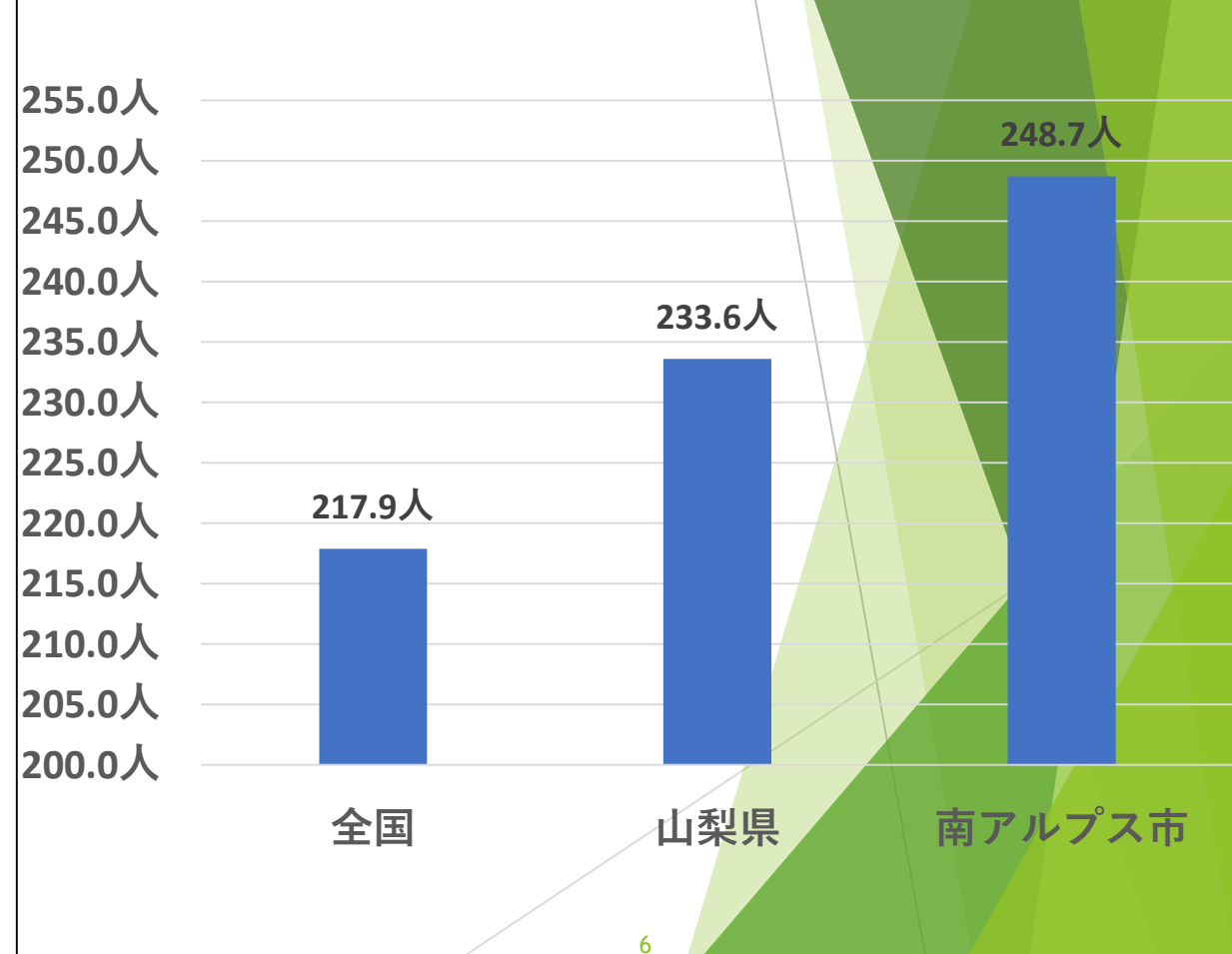
令和元年度

健診結果【HbA1cが基準値を超える人】



KDBシステムより

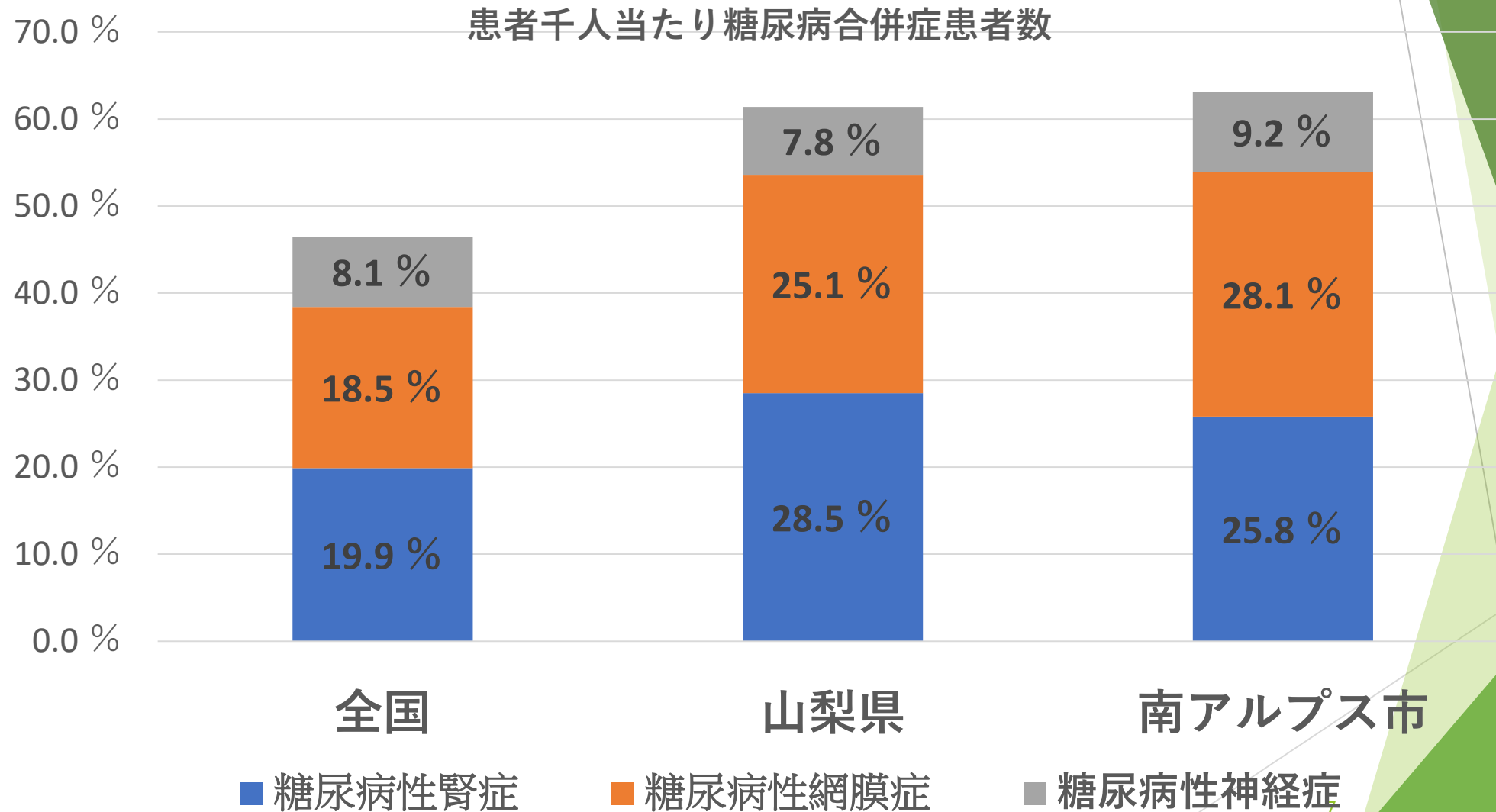
レセプト【患者千人当たり糖尿病患者数】



KDBシステムより

糖尿病合併症患者数

令和元年度



KDBシステムより

糖尿病予防（重症化予防）が必要な背景

- 医療費の上位は、**慢性腎不全・糖尿病**
- 医療機関にかかっている方の4人に1人は糖尿病
- 人工透析患者のうち、糖尿病を起因とする方が多い
- 健診結果から糖尿病予備群や糖尿病が疑われる方が約7割
- 糖尿病は**自覚のないまま進行**し、重篤な合併症を招く



糖尿病の発症または重症化を予防するために、受診が必要な方がきちんと医療機関につながることで、また、生活習慣を見直し改善していくことが大切。

令和2年度 南アルプス市糖尿病等予防・重症化予防事業

現状
国保医療費 R1 1人当たり年間30万
入院外来医療費の上位を生活習慣病が占める
新規透析患者の6割が糖尿病を起因とする
特定健診受診者 HbA1c値の有所見者 71.5%

発症予防
健康意識の醸成
糖尿病を知ってもらう取組み
(啓発・情報提供)

**早期発見
早期治療**
予備群への早期介入
ハイリスク者への受診勧奨
かかりつけ医の先生方との連携

**重症化
予防**
ハイリスク者への受診勧奨
かかりつけ医の先生方との連携
保健・医療の連携推進

事業の目的 糖尿病等の発症及び重症化を防ぎ、健康寿命を延伸する

事業

- ①健康づくりインセンティブの提供
健康リーグ事業(歩数計活用事業・健診受診者へのポイント付与)
- ②特定健診・特定保健指導の実施
- ③糖尿病を知ってもらう取組み
(健康フェスタ等での血糖値測定・予防セミナー)

- ①特定健診・特定保健指導の実施
- ②精密検査受診勧奨
- ③健康教室
- ④個別の保健指導(訪問・面接)
- ⑤かかりつけ医の先生方との連携
- ⑥保健・医療連携推進会議
- ⑦専門職の人材育成

長期目標

糖尿病有病者の増加抑制
メタボ該当者及び予備群の減少
特定健診・特定保健指導の実施率の向上

糖尿病有病者の増加抑制
メタボ該当者及び予備群の減少
特定健診・特定保健指導の実施率の向上

治療継続者の割合の増加
血糖コントロール不良者の割合の減少

糖尿病性腎症による新規透析導入患者の減少

糖尿病重症化予防事業

- ▶ 健診結果説明会における個別指導
- ▶ 糖尿病予防教室、糖尿病重症化予防教室
- ▶ 慢性腎臓病（CKD）予防教室
- ▶ 糖尿性重症化予防個別支援事業
- ▶ 保健師・栄養士糖尿病学習会
- ▶ 糖尿病重症化予防 保健・医療連携会議
- ▶ 精検未受診者及び糖尿病治療中断者への受診勧奨